

平成28年度 川西町地域公共交通会議 第1回会議

議事要旨

日 時：平成28年6月29日（水）

9：30～

場 所：川西町役場2階 研修室A

出席者：森田政美会長、森本修司副会長

下間章兆委員、吉田昌功委員

石川正也委員（代理：佃 寿己）、吾妻孝義委員

山口勝彦委員、露永勝一委員、吉村伸泰委員、丸谷延弘委員、吉村真知子委員

木村淳三委員（代理：清良井利之）、折原英人委員（代理：川村 俊）、入口和明委員

榊井宏之（代理：山田展義）

<議事次第>

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議題
 - (1) 前回会議の議事録確認
 - (2) 平成27年度決算報告、平成28年度予算について
 - (3) 平成27年度川西町コミュニティバス利用状況について
 - (4) 平成28年度事業計画について
 - (5) 今後のスケジュールについて
 - (6) その他
4. 閉会

<配布資料>

会議次第、配席図、委員名簿

資料1 平成27年度第3回川西町地域公共交通会議議事要旨

資料2 平成27年度歳入歳出決算書（案）、平成28年度歳入歳出予算書（案）

資料3 平成27年度川西町コミュニティバス利用状況

資料4 平成28年度事業計画について

資料5 川西町地域公共交通会議 平成28年度スケジュール

資料6 地域内フィーダー系統確保維持計画

<議事要旨>

○開会

○出席者の報告

○議題1：前回会議の議事録確認について（資料1）

→ 委員各位より意見等がなかったため、議事進行

○議題2：平成27年度決算報告、平成28年度予算について（資料2）

吉村監事より会計監査報告

下間委員：予算の立て方、執行の仕方についてお聞きしたい。

「川西町地域公共交通会議」の27年度「歳入歳出決算書」で交通会議を3回実施しているが運営費が出ていない。

「川西町地域公共交通対策事業」の28年度歳入歳出予算で歳入欠陥が生じています。歳入歳出は町からの補助金などを入れて、支出の1,081万6,000円に合わせるのが普通ではないか。

事務局：「川西町地域公共交通会議」の27年度支出について運営費ゼロですが、事業費等の負担につきましては町の財源を使わせていただいております。

「川西町地域公共交通対策事業」の28年度の町の歳入歳出予算ですが、歳入歳出を合わせるべきとのご指摘をいただいたので、記載の仕方等を含めて次年度以降検討させていただきたい。

川村委員：「川西町地域公共交通対策事業費」の歳出に「報酬」で委員報酬が計上されているが、この委員報酬は今日の交通会議の委員への謝金とかそういうことですか。

事務局：そうです。

川村委員：本来であれば、この会議の運営費に計上すべきではないか。

事務局：計上方法については、次年度以降検討させていただきたい。

入口委員：この場で承認するのはどこまでですか。

事務局：「川西町地域公共交通会議」の27年度決算書（案）と28年度予算書（案）です。

入口委員：最後の資料（「川西町地域公共交通対策事業」歳入歳出予算）はあくまでも参考ということですか。

事務局：そうです。

入口委員：「川西町地域公共交通対策事業」の歳入歳出予算については、歳入と歳出の合っていない予算資料ですね。後で修正するのではなくて、もしこの場で決議といいますか、認めないといけな資料であるなら、当然、修正したもので諮っていただかないと、承認し難い。ここに注釈で書いているように「川西町一般会計予算書より抜粋」であれば、「参考資料」とでも書いていただくほうがよいのではないですか。これは参考でいいのですね。

事務局：参考です。最初の「決算書（案）」「予算書（案）」は、「川西町地域公共交通会議」の歳入歳出予算ということです。意図としては、「川西町地域公共交通会議」の歳入歳出の決算、予算について承認をいただきたい。最後のページは参考資料として、川西町の一般会計予算の中で、コミュニティバスの費用がどの位なのかをご報告させていただきました。

入口委員：これは「資料4」の「平成28年度事業計画について」の資料としてつけられるべき内容なのではないですか。これは「資料2」につける内容のものではない。

森田会長：そうですね。混乱しますね。

- 「（2）平成27年度決算報告、平成28年度予算について」は承認
「資料2」添付の「川西町地域公共交通会議」のH27決算書（案）及びH28予算書（案）の（案）をそれぞれ削除

○議題3：平成27年度川西町コミュニティバス利用状況について（資料3）

下間委員：全然利用のない時間帯とかは把握されていますか。

事務局：午前中の利用が多い、特に保田からスーパーおくやまのほうに行く便はかなり多いです。ただ、昼間と夕方は少ないという状況を確認しております。

森田会長：次回からそういう表も入れていただきたい。

下間委員：西人権センターの文化教室にコミュニティバスを利用して参加されている方に聞きましたら、「行くときはいいけれども、帰りの便がなかなか合わないのでもっと待たないといけな」とかの話が出ています。もし全然利用のない時間帯があれば、それを活用して、町事業などを開催したら利用者が増えるのではないか。

森田会長：ダイヤを検討できる部分は検討していただき、町の事業の始めと終わりをダイヤに合わせるような方向も考えていただきたい。

吉村委員（商工会）：保田からの第2便を調査させていただきました。

本来なら自分の降りるところをドライバーさんに知らせるためにブザーで押すようになっ

ているが、それが押されないために2カ所ほど停留所を超えた。超えるということは当然、バックしないといけない、それは非常に危険を伴う。
ドライバーさんなりに次の停留所の案内をしていただいたほうがより安全なのではないか。

森田会長：慣れておられない方は次の停留所がどこかわからない場合がありますね。
事務局のほうで検討をお願いします。

→ 「（3）平成27年度川西町コミュニティバス利用状況について」は承認

○議題4：平成28年度事業計画について（資料4）

下間委員：「基本方針1」の「利用者の意見徴集」について、27年度の第3回の議事録を見ていただいたらわかりますように、乗らない人に対するアンケートについて言わせてもらった。今年度は予算がないとしても来年度にはお願いしたい。

乗っている人にアンケートをとったら、次の停留所がわかりにくいとかの回答しか出てこない、地域住民の意見を聴取するのであれば、なぜ乗らないのかという形のアンケートをとるのが普通ではないか。

「平日運行時間の変更」では「ぬくもりの郷などのところのルートを検討します」ということでしたが、ぬくもりの郷に地域包括支援センターが移転していますので、そこへの足も確保してほしい、国保中央病院に行く便も確保していただきたい。

吉村委員（婦人会）：高岡市や氷見市のコミュニティバスは旅行者でも他府県の方でも誰でも乗れるのです。ただ、値段が違いまして、高岡市の方は100円、旅行者は200円、そして65歳以上の方とか身障者の方は半額でした。

高岡市は藤子・F・不二雄さんの出身地なので、青のバスにドラえもんやドラミちゃんがいったり、赤のバスにハットリくんがいったり、すごく離れていても「あ、バスが来た」というのがわかります。

大和高田市と奈良交通が提携して走らせている「きぼう号」にしても、表に「きぼう号」と大きく書いてあるので、すぐにバスが来たことがわかります。

川西町の場合、1台はコスモスの絵が描いてあるのですが、遠目には見にくいです。もっと思い切り大きく描いてもいいのではないかと。もう1台は全く描いていない。そうしたら、前から見たらデイサービスのお迎えの車と非常によく似ているので、近くまで来ないとわかりません。そういうところも少し考えていただきたい。

「こすもす号」が走っているのは、だいぶ周知されていると思うのですが、誰でも乗っていいということを知らない人がたくさんいらっしゃると思うのです。急に雨が降りだしたときに乗れますし、よく駅前で結崎駅に降りてこられる業者の方に「役場はどこですか」と聞かれるのですが、タクシーを呼ばれたり、歩いて行かれたりしているのですね。誰でも乗れるということを周知していただきたい。

事務局：誰でも乗れるということの周知については、いろいろな方法を検討させていただきたい。

山口委員：「基本方針2」の「行政の協働による持続可能な仕組みづくり」の「運賃収入の確保」は増収につなげていくのが目的ですが、社会的に高齢者の免許証返納があります。この方々に対する助成とか、乗車に結びつけるとか、そういう施策は特に考えておられますか。

事務局：利用料の減額は行っております。70歳以上の方及び障がいをお持ちの方については利用料を半額にしております。

山口委員：免許証の返納者については。

事務局：高齢者の方が免許を返納される率が高いということがありますので、70歳以上の方について利用料を半額にしておりますので、そのあたりはできていると考えております。

山口委員：観光の関係ですが、コミュニティバスはもちろん地域住民の足として運行されておりますが、この地域において観光需要があるのかどうか。もしあるのなら、そういう方々にも乗っていただけるような一つの構図をつくられて増収に結びつけていく。地域住民の足というのが基本なのでしょうけれども、運行されるのであればそういうものも取り入れる余地があるのではないかと。次年度でも結構です、計画の中でそういうことも検討されてはどうか。

事務局：観光需要を含めてコミュニティバスの利活用を検討します。

吉村委員（商工会）：「基本方針2」の「財源の確保」に「広告などによる収入の確保」とありますが、それに対して私は「商工会としても協力していきたい」と発言させていただいています。具体的に私ども商工会ができることは何かということをもう少し掘り下げて事務局さんと協議させていただいて、これをより一層推し進めていきたい。夏フェスタが8月に迫っております。以前、コミュニティバスを運行していただきましたが、地域住民の足として、「夏フェスタのときは運行します」という告知を大いにしていただければいいのではないかと。

事務局：本年度も夏まつりの事務局と調整しているところです。夏フェスタのパンフレットのページを一部いただき、特別運行の啓発をさせていただきます。夏フェスタ会場のバス停も臨時に設置し、運行便数もおおむね5便程度を考えています。

入口委員：下段の「評価基準」のところの、「現状の評価基準を維持する」と書いてある数値評価基準ですが、これも最初に案をつくったときの評価基準がこの数字ですね。

事務局：そうです。

入口委員：28年度の事業計画のスケジュールとしては当面これを維持するという計画にしている。

事務局 : そうです。

入口委員 : 次に見直すのはいつごろの予定ですか。

事務局 : いまのところ見直しの時期は未定です。必要な時期に見直しを行いたいと考えております。

入口委員 : いまは維持できていますということを事業計画として提案されているということですか。

事務局 : そうです。

吉田委員 : 町外の方でも誰でも乗れるとか観光という形での提案があったのですが、その場合、町外から観光に来られる方は土日とか休日に来られる方が多いと思います。休日運行についてはどういうふうを考えておられるのか。

事務局 : いまのところは考えておりません。運行経費の関係もございまして、現行の平日運行についてのみ検討しております。

森田会長 : 乗らない人へのアンケートについて何か事務局が考えているようなことがありますか。

事務局 : 私どもは今年度、総合計画を担当しております。そこでアンケートを取らせていただき、そこに一部、そういう項目を入れたいと考えております。

森田会長 : 土日もあるば乗るかというような質問項目も入ってきますか。

事務局 : 入ってくると思いますが、あくまでも総合計画策定に関するアンケートになりますので、どこまでのボリュームのものになってくるのか、それは検討させていただきたい。

→ 「(4) 平成28年度事業計画について」は承認

○議題5 : 今後のスケジュールについて (資料5)

→ 「(5) 今後のスケジュールについて」は承認

○議題6 : その他 (資料6)

→ 「地域内フィーダー系統確保維持計画」は承認

○閉会

以 上